

目指す学校像	みんなでつくる みんなの学校 ~児童・教職員・保護者・地域のすべての人の笑顔のために~
--------	---

重点目標	1 英語教育を中心とした小・中一貫教育「花笑み教育」の実現 2 安心・安全な学習環境の礎となる人間関係の構築と施設設備・予算の適切な管理 3 学校・家庭・地域が連携して進める魅力ある新和地区の創造 4 「学びのポイント」を意識した授業展開による学びの自律化の促進
------	--

※重点目標は4つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

年度		学 校 自 己 評 価			年 度 評 価		学校運営協議会による評価	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	
1	<現状> ○城南中学校・和土小学校との英語を中心とした小・中一貫教育「花笑み教育」推進の初年度となる。 ○令和5年度さいたま市学習状況調査によると、どの学年も。各教科において、市平均値よりもやや下回っている。 ○生活習慣調査では、「自分にはよいところがあると思いますか」等の質問で、市平均値よりも肯定的な回答を示す割合が高い。 <課題> ○各教科において基礎的、基本的な知識は個人差が大きい。 ○算数では、データを活用する力に課題がある。	・児童が英語に親しみ、意欲的に取り組んでいる状況 ・タブレット端末やICTを活用して、個別最適な学び、協働的な学びを実施している状況	①ネイティブ教員、G・S 非常勤講師、ALT 等と連携しながら、各学年 G・S の授業を工夫する。 ②児童が日常的に英語に親しめるよう掲示物等、環境を整える。	①保護者学校評価項目4「地域のよさを生かした学習活動」のA評価回答 (R5; 71%→R6:75%以上) ②児童アンケートで英語を肯定的にとらえている回答80%以上(新規調査)	①保護者学校評価項目4「地域のよさを生かした学習活動」のA評価回答79%→目標達成 ②児童アンケートで英語を肯定的にとらえている回答96%→目標達成	A	○今年度は、ネイティブ教員を中心にオールイングリッシュの授業を展開した。児童によっては、苦手意識を持つ児童もいたため、分かりやすい授業展開を研究していく。 ○各教科等において、ICTをさらに活用しながら、学習できるように教員のICTに係るスキルを向上させる必要がある。 ○ICTを使うことを目的とするのではなく、目的を達成するためにICTを使うようにするために、教材やアプリケーションを精選する。	・小中一貫「花笑み教育」について、3校が実際に活動している場面を参観できる機会があるとよい。 ・いわゆる「読み書き、そろばん」と言われる基礎基本の定着を大切にしてほしい。 ・英語教育に工夫や手厚い支援がみられ、英語教育をしっかりと推進している。 ・ICTの活用について、ICTを活用することが目的ではなく、手段として活用することについて、賛成である。
2	<現状> ○令和5年度の児童アンケート「クラスや学校での生活を楽しく過ごしています。」では、95%の児童が肯定的に回答している。 ○今年度より、プールの解体工事が始まり、仮設校舎が建築される予定であり、校庭の使用が制限される。 <課題> ○心と生活のアンケートより、自己信頼や他者信頼が低い児童が一定数いるので、さらによりよい人間関係を構築する必要がある。 ○仮設校舎建設に伴い、騒音の問題や校庭等の施設利用について制限がかかるので、教育活動に影響が出ないように単元の入替えや工夫が必要である。	・児童が安心して学べる学習環境や人間関係の構築 ・施設設備・予算の適切な管理	①「いのちの支え合い」を学ぶ授業や道徳教育を中心に生命の尊さ、思いやりの心、規範意識等をはぐくむ。 ②「心を潤す4つの言葉」「心を元気にする4つの言葉」の推進、人間関係プログラムを実施により、コミュニケーションスキルを向上させる。	①児童アンケート評価項目2「クラスや学校での生活を楽しく過ごしています」のA評価回答 (R5; 76%→R6:80%以上) ②児童アンケート評価項目3「いじめがなく、友達と仲良く生活しています」のA評価回答 (R5; 75%→R6:80%以上)	①児童アンケート評価項目2「クラスや学校での生活を楽しく過ごしています」のA評価回答76%→目標達成 ②児童アンケート評価項目3「思いやりをもち、友達と仲良く生活しています」(文言変)のA評価回答76%→目標達成	B	○各学級において、日常観察やアンケートを活用し、児童の状況把握を行っている。加えてスクールダッシュボードでの効果的な状況把握を行えるように運用方法を検討する。 ・学級会計や集金方法について、管理職、学級担任、事務職員が相互に連携を図り、確認、未届けを速く把握できるように運用方法を検討する。 ・solaルームの活用について、学校運営協議会としても、引き続き協力・支援をしていく。	
3	<現状> ○令和4年度に文部科学省より「学校・家庭・地域で取り組む食育」について表彰を受けた。 ○青少年育成会、自治会、社会福祉協議会等、本校を取り巻く地域の団体が緊密に連携し、児童を見守っている。 <課題> ○学校運営協議会で「安心・安全な新和地区を創るために」をテーマに3か年の活動スパンで目標を設定したが、意識・行動をどのように維持・継続させていくかが課題である。 ○学校の教育活動をホームページや学校安心メールで紹介しているが、さらなる周知が必要である。	・学校運営協議会を中心とした学校経営の計画・実施 ・保護者・地域との円滑な連携	①学校運営協議会において、魅力ある学校づくりについて熟議し、学校運営に反映する。 ②ホームページを充実させたり、各種たよりを発行したりするなど、児童の教育活動の様子を発信・周知する。 ③学校・家庭・地域が連携して「自分の命を守る」取組を実施する。	①保護者学校評価項目10「学校・保護者・地域」のA評価回答 (R5; 47%→R6:50%以上) ②学校運営協議会、SSN、PTA等、地域団体と良好な関係 ③学校・家庭・地域が連携して「自分の命を守る」取組の実施	①保護者学校評価項目10「学校・保護者・地域」のA評価回答51%→目標達成 ②学校運営協議会、SSN、PTA等、地域団体と良好な関係 ③8月31日に学校運営協議会委員をゲストスピーカーに招き、授業を実施する予定であったが、台風接近のため臨時休校となり、計画通りに実施できなかった。後日、教員のみで実施した。	A	○ホームページの更新について課題があった。更新日時や作業を明確にし、情報が得やすいホームページを作成する。 ○学校運営協議会と連携し、「さいたま市で一番安心で安全な新和地区を創るために」をテーマに3年計画の最終年としての取組を計画する。	・学校の情報を素早くホームページに掲載してほしいが、各教職員にもそれぞれの業務があるので、持続可能な方法で更新する方法や運用方法を検討してほしい。 ・宿泊的行事における児童の活動については、できる範囲で写真等の掲載をお願いしたい。
4	<現状> ○研修主任やエバンジェリストを中心に、教育活動における効果的なICTの活用方法について研修を重ねてきた。 ○日課を工夫したり、会議や研修の持ち方を精選したりしながら教員が教材研究に充てる時間を確保してきた。 <課題> ○授業におけるICTの活用方法について、さらに改善の余地がある。 ○「学びのポイント」を意識した授業の研究について取り組み始めたばかりなので、さらなる実践経験が必要である。(児童が主体的に学ぶようにするためにはどうしたらよいか等)	・「学びのポイント」を意識した授業展開の実施	①「教える」から「学ぶ」授業に転換できるように、学びのポイントを意識した学習過程を展開する。 ②市教委による指導訪問、学力向上カウンセリング訪問等を活用したり、校内研修を充実させたりして授業力の向上を図る。 ③高学年教科担任制を実施し、教材研究を充実させ、専門性を高める。	①保護者学校評価項目3「わかりやすい授業」A評価回答 (R5; 48%→R6:50%以上) ②児童アンケート評価項目1「基礎的な学力を身に付けています。」のA評価回答 (R5; 587%→R6:60%以上) ③「学びのポイント」を意識した授業の実践	①保護者学校評価項目3「わかりやすい授業」A評価回答54%→目標達成 ②児童アンケート評価項目1「基礎的な学力を身に付けています。」のA評価回答62%→目標達成 ③教員が「学びのポイント」(じ:自分で決めるし;思考するや;やってみるくクラウドでつながる)を意識した授業展開を行っていた。	A	○全国学力・学習状況調査やさいたま市学習状況調査の結果を分析し、成果や課題を分析する。そして、ICTを活用しながら「さいたま市アクティブ・ラーニング型授業」を推進し、個別最適な学びと協働的な学びを実現し、児童の学力の向上を図っていく。 ○次年度は、学校保健領域の研究発表会を市内の学校に向けて行う予定である。研究主題「生涯にわたり、健康づくりに取り組む新和っ子の育成」の実現を目指しさらに研究を進めていく。	・各学力調査の結果をしっかりと分析し、課題や解決方法を検討しながら、個々に応じた指導、支援を行ってほしい。 ・児童が、いわゆる「学び直し」ができるようさらにICTの活用や必要な支援に取り組んでほしい。

学校運営協議会による評価	実施日令和7年2月13日
学校運営協議会からの意見・要望・評価等	

